

2014年7月21日

## 第64回 全国学校新聞指導者研修会要項

<主 催> 全国高等学校新聞教育研究会  
一般社団法人 日本新聞協会  
高等学校文化連盟全国新聞専門部  
<後 援> 文部科学省（予定）  
滋賀県教育委員会  
滋賀県NIE推進協議会（申請中）

10月4日（土）から2日間、滋賀県米原市の滋賀県立文化産業交流会館で第64回全国学校新聞指導者研修会を開催いたします。今年のメインテーマは「学校新聞で動きを作ろう～民主社会を育むスクールジャーナリズム～」です。

この研修会は、全国高等学校新聞教育研究会、一般社団法人日本新聞協会、高等学校文化連盟全国新聞専門部の主催で、高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、毎年秋に開催しております。また、この研修会は、次年度、全国高等学校総合文化祭開催地でのプレ大会としての性格も、あわせ持っております。

今回の研修会では、情報が氾濫する現代社会の中で、身の回りのできごとに無関心な高校生が増えている現実を踏まえて、報道を通じて生徒たちの生活の場である学校に注目させ、校内に風を巻き起こし学校の動きをつくる、学校新聞の「スクールジャーナリズム性」に焦点を当てました。学校新聞のこの働きは、民主主義の原点とも言えるものであり、民主社会を育む力とも言えます。NIEの活動も視野に入れながら、学校新聞及び新聞作りについて、幅広い観点から論議を深めたいと考えております。

テーマを踏まえて、記念講演の講師として、7月19日に滋賀県知事を退任された嘉田由紀子氏をお迎えました。知事の活動の出発点でもあった琵琶湖への取り組みを踏まえて、「琵琶湖の環境問題、二期八年の滋賀県知事経験から見たもの～学校新聞をつくる若い世代に伝えたいこと～」をテーマに、問題提起する立場から、実際に問題解決に当たる知事となられて、苦勞されたこと良かったこと、また、学校新聞を製作する若い世代に伝えたいことなどを、お話しいたします。

実践報告は、地元、県立彦根東高校新聞部の顧問として多大な実績を上げてこられた鈴木真由美先生と、積極的な学校新聞活動を展開する群馬県立富岡高校の岡田聡史先生に発表していただきます。また参加者から提出された実際の紙面をもとに、紙面づくりのポイントについて具体的なアドバイスを受ける「高校新聞クリニック」は、元県立彦根東高校顧問で、同校新聞部の基盤を作った滋賀県立愛知高校元校長の門脇正人先生にアドバイザーをお願いしました。

1日目の記念講演を踏まえて、2日目の技術講座では、朝日新聞社草津支局長の八百板一平氏を講師にお招きし、「報道写真のあり方～カメラ片手に現場を歩く～」をテーマに、テクニックを超えた、思いを伝える写真の撮り方・使い方について、お話しいたします。研究分科会（1）「初心者のための新聞製作」では、富山県高等学校新聞指導研究会の得地聡先生に、学校新聞の製作の基本を指導していただきます。研究分科会（2）では、前日に引き続き、メインテーマをめぐる意見交換します。研究分科会（3）では、神奈川県立横須賀高校の中根淳一先生を世話人に、実践報告を踏まえて、NIEについて意見交換します。

尚、今回の研修会参加に際し、学校長あての文書が必要な場合は、別記の全国高等学校新聞教育研究会研修会担当（神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫）までご連絡ください。

# 《参 加 要 領》

1. 参加者：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者
2. 定 員：70人程度（申し込み順に受け付けます）
3. 日 程：10月4日（土）～5日（日）の2日間 ※日程の詳細は別紙参照
4. 会 場：滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 滋賀県米原市下多良二丁目137

電話：0749-52-5111

5. 懇親会場：マリアージュ彦根（研修会場から懇親会場まで送迎バスが出ます）

〒522-0022 滋賀県彦根市里根町12

（※JR彦根駅東口駅前、徒歩5分）

電話：0749-26-1101

6. 申込方法：

申込用紙に必要な事項をご記入のうえ、神奈川県立厚木東高校毛利淳夫宛てお申し込みください。あわせて、下記の口座に参加費、懇親会費等も送金（振込料本人負担）してください。

参加費：4,000円      懇親会費：5,000円

【送金先】みずほ銀行東京営業部（001） 口座番号（普通）1003540

加入者名      全国高等学校新聞教育研究会

7. 申込締切：9月19日(金)必着

8. 宿 泊：

宿泊につきましては、コンフォートホテル彦根（宿泊申込書参照）を用意しております。ご希望の方は（株）JTB西日本・大津支店（問合せTEL：077-522-4007、FAX：077-522-2941、担当者：辻敏文）までご相談ください。

なお、申し込みは別紙宿泊申込書を使い、9月10日(水)までにFAXで申し込んだ上、電話で確認してください。

9. クリニック紙の募集：

高校新聞クリニックを希望される方は、参加申込用紙にその旨をご記入ください。先着順に4校まで受け付けます。申し込み結果、クリニック紙の送付先など、詳細はお申し込み者ご本人に、直接ご連絡いたします。

10. 交換紙コーナーの設置：

各高校の新聞を交換する場所を設けます。70部をお持ちください。単一号で部数が揃わない場合は、複数号で揃えていただいても結構です。

11. 問い合わせ先：

全国高等学校新聞教育研究会研修会担当（神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫）

神奈川県厚木市王子1-1-1（〒243-0817）

電話046-221-6469 FAX046-222-8204

メール；[amohri@pen-kanagawa.ed.jp](mailto:amohri@pen-kanagawa.ed.jp)

以 上